

平成 29 年 度

# 入 学 試 験 問 題

学校法人 明星学園

浦和学院専門学校

看護学科

国 語

(一般入試 I 期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 受験票は机の上に表示された受験番号の横におくこと。
- 2 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 3 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 4 下敷の使用は禁止する。
- 5 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 6 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「げにわれら久しく泣くことを忘れたりしよ」という中原中也の一句があった。ちょうど、これに①符ゼツをあわすようにして、柳田国男も「人が泣くということ、近年著しく少なくなつて居るのである」(「涕泣史談」と言った。

詩人と民俗学者とがともに、泣くことの②滅タイに目をとどめたのである。いずれも戦前、昭和十年代の観察であつたが、こういう傾向は、近年、いよいよ目だつてきているようである。

A 葬式のときでも、涙をうかべる会葬者は、しだいに減つてきている。むかしは、大してかかわりのない会葬者でも泣いていたのに、という感がある。泣くことをいやしめ、禁じる風潮がはびこつたためであらうか。

柳田国男が子供の例で観察したように、とくにいちじるしい変化は子供の泣かなくなったことである。むかし——といつても色々あるが、戦前、私たちが子供のころでさえ、まだまだ、何かという泣いていたように思う。水漬みずばなをたらし、すすり上げ、泣きじゃくる。そんな子供を見るのは街頭の常態であつた。しかし近ごろは、町かどでめつたに子供の泣いているのを見たことがない。

私はかなり注意して街頭観察しているつもりだが、いつの日から子供の泣く姿を見なくなつたか、ちよつと記憶にない(むしる盛り場などで、若い女が目涙をためて走り去るのを見ることが、二、三度あつた。また、フランスの片田舎で、深夜車を走らせていたとき、一人の女が泣きながらとぼとぼ歩いていた姿が今も目にうかぶ)。

柳田説によれば、子供が泣かなくなったのは、一つには口が達者になつたためである。子供がワンワン泣き出すと、ふつう親は怒り、「泣いてはわからないじゃないの。ちゃんとわけをお言い」などと子供に言う。しかし、子供の方に見れば、ちゃんとわけが言えないから泣いているのである。a 伊達や酔狂で泣いているわけではないのだ。

B 「泣く」というのは「話す」ということとは独立、独自のコミュニケーションなのである。思わず胸がつかつて泣く。あるいは、③バン感胸にせきあげて泣く。それは、感情の鮮明な表現形態であり、ことばでは代用しにくいものである。

C いっぽうでは、人前で泣くことは恥ずかしいことだという規制意識がつよまり、他方では「口が達者」——つまり 1 活動が活発になつてくると、以前なら文句なく泣いていたところを、おとな顔まけの理屈を言いだす。

むかし、私たちが子供のころは、何か物を買つてほしく、しかも親が同意しないときには、まずダダをこね、それでもきき目がないと百貨店のフロアーなどにひっくりかえりワンワン泣きわめいてやったものだが、近ごろの子供は、理路整然と要求をもちだすようである。これはたしかに b 小さな事柄における巨大な変化である。(a)

一般に、どうして泣き現象が減ってきたのか。これはなかなかの難問である。

いちばん早く、そして徹底的に消滅したのは、ラメンテイション(④アイ悼)の泣き方である。神や霊を送るときには、儀式として人びとは泣いたようだが、e こういう泣き方はもはや私たちから遠い。ということとは、私たちが霊に共感することが、いかに少なくなつたかということではないのか。共感が少ないから、儀式がそらざらしくなり、ラメンテイションという形式そのものが消えてしまったのであろう。いつか、上野英信氏が戦後の炭坑は幽霊が出なくなったということを描き指摘しており、興味ぶかく思った。炭坑などに出る幽霊はすべて戦前できなのである。ということは、戦後は幽霊に共感しうる力、死者を幽霊として心の中に創出しうる力がうせてしまったということなのである。

柳田国男は、このラメンテイションと並んでデモンストレイションの泣き方をあげている。子供が親にダダをこねて泣きわめく、というのは、まさにこのデモンストレイションの泣きである。「デモ泣き」とでも言うべきか。こういうのが、いちばん「みつももない」として社会的にたしなめられる。しかし、なぜ「みつももない」のか。主張なり要求なりは、ちゃんと論理的な形でもちだすべきだ、感情に訴えるのはよろしくない。こういう考え方が「みつももない」という評価の背後にある。「男が泣くのはみつももない」「大のおとなが泣くのはみつももない」。この表現の背後には、女、子供が泣くのは、あるていどやむをえない。つまり、女、子供というのは感情に動かされやすい存在である、という考えがひそんでいる。(b)

しかし、平等主義の考えが徹底してくると、その女、子供もやはり男、おとななみになり、「泣くのはみつももない」という規制にしたがうようになる。D、子供も、きょうび、めつたに泣きはしないのであるが、しかし、この感情蔑視の背後にはさらに、d 霊との共感を失つていった近代人の道程が透けてみえるのではないか。

人間、歳をとると感受性がにぶるように思われているが、しかし、これは正しくない。老齢になると、ある種の感受性だけは極端にするどくなり、不愉快なことには生理的に耐えられなくなる。つまり「こらえ性がなくなる」というやつだ。(c)

そのこらえられぬ刺激の一つが泣き声である。これは不愉快で耐えられぬ。というわけで、老人ほど泣く子に甘い——つまり泣く子に耐えられぬので、つい、子供に甘くなってしまう。(d)

他人の泣き声、涙にたいし、その中にわけ入って共感することができなくなり、そして、それができなくなるにつれ、泣き声は生理的に不愉快な一刺激にすぎなくなり、こうして、「泣くことはみつももない」という社会的、倫理的規制ができあがったのである。(e)

(多田道太郎著「しぐさの日本文化」より)

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 符セツ〔解答番号は1〕
- a 詳しいセツ明を求める。
  - b 田中さんは親セツな人だ。
  - c インターネットのセツ続を行う。
  - d 会場セツ営の準備に追われる。
  - e 楽譜の小セツ番号を数える。

- ② 減タイ〔解答番号は2〕
- a 得意先を接タイする。
  - b 家庭の安タイを願う。
  - c ルール違反でタイ場させられた。
  - d タイ列を組んで行進する。
  - e 新しい技をタイ得する。

- ③ バン感〔解答番号は3〕
- a バン国共通のテーマである。
  - b ピアノでバン奏する。
  - c バン石の基礎を築く。
  - d バン秋の薄日に照らされる。
  - e 愛蔵バンを入手する。

- ④ アイ悼〔解答番号は4〕
- a アイ情を持って接する。
  - b 人生の悲アイを感じる。
  - c アイ味な返事をしてごまかす。
  - d 手を振ってアイ図する。
  - e アイ容れない関係。

問二 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。「Aの解答番号は5、Bの解答番号は6、Cの解答番号は7、Dの解答番号は8」

- a ところが      b つまり      c むしろ      d たとえば      e というわけで

問三 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を(a)～(e)の番号で答えなさい。【解答番号は9】

へそういうことを考えあわせると、人間はしだいに他人が「泣く」ことにたいしてこらえ性をなくしてきた、その道程が文明であるように思える。▽

問四 傍線部 a 「伊達や酔狂で泣いているわけではないのだ」とありますが、ここではどういうことを指しているか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は10】

- a 面白半分でふざけて泣いているわけではないのだということ。  
b 相手を脅すために泣いているわけではないのだということ。  
c 自分の行為に酔いしれて泣いているわけではないのだということ。  
d 大人ぶって泣いているわけではないのだということ。  
e 強がって意地を張り、泣いているわけではないのだということ。

問五 傍線部 b 「小さな事柄における巨大な変化」とありますが、「巨大な変化」に当てはまるものを次のなかから選び、記号で答えなさい。【解答番号は11】

- a 人前で泣くことは恥ずかしいことだという規制意識が強まり、子供たちの感情が失われ、一方で論理的なものの方が強まったこと。  
b 以前なら文句なく泣いていた子供が、おとな顔負けの理屈を言い出すようになったこと。  
c 「泣く」ということが「話す」ということとは独立、独自のコミュニケーションになったこと。  
d 新たな感情の鮮明な表現形態が登場し、便利になったこと。  
e 子供が自分の要求が通らなかつた際に、ダダをこねるだけではなく、理路整然と要求を持ちだすようになったこと。

問六 傍線部 c 「こういう泣き方はもはや私たちから遠い」とありますが、ここではどういうことを指しているか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

い。【解答番号は12】

- a 神や霊を送る際にも感情に訴えず、論理的にすべきだという考えが広まり、感情的にならざるを得ない泣くという行為は排除されたということ。
- b 神や霊に共感することが少なくなったため、儀式として泣くという行為に真実味を感じなくなり、儀式としての涙を流さなくなったのだということ。
- c 戦後の炭鉱に幽霊が出なくなった結果、人々は神や霊の存在を信じなくなり、信じていないものに涙を流すという行為がばからしくなったのだということ。
- d 科学の導入によって、神や霊の存在は疑わしいものとなり、誰も信じなくなったため、神や霊に対して泣くという行為をしなくなったのだということ。
- e 感情に訴えるのはよろしくないという考え方が広まった結果、神や霊に対しても信仰することをやめ、涙を排除しようという動きになってきているのだということ。

問七 空欄1にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は13】

- a 言語
- b 表現
- c 精神
- d 身体
- e 思考

問八 傍線部d「霊との共感を失っていった近代人の道程」とありますが、「霊との共感を失っていった近代人の道程」に当てはまる内容として適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は14】

- a 神や霊を送る際の儀式としての涙がなくなった結果、戦後の炭鉱には幽霊が出なくなり、そのことが人々の想像力を著しく失わせた。
- b 他人の泣き声や涙に共感しなくなり、泣き声の不愉快な一刺激となって「泣くことはみつともない」という社会的、倫理的規制ができあがった。
- c 「泣くのはみつともない」という規制にしたがうようになり、不愉快なことは生理的に耐えられないから排除するという社会的、倫理的規制ができあがった。

- d 主張や要求はきちんと論理的な形にすべきで、感情に訴えるのはよろしくないという考え方から、人々は共感することができなくなり、感情を失いつつある。
- e 「泣くのはみつともない」という社会的、論理的規制が人々のこらえ性を失わせ、霊との共感も次第に失われていった。

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。〔解答番号は15〕

- a ラメンテイションとデモンストレーションは「みつともない」として社会的にたしなめられるが、それは人々のこらえ性の不足が原因だとされている。
- b 人は歳をとると感受性がにぶり、こらえ性がなくなるため、他人の泣き声や涙が不愉快な一刺激となつて「泣くことはみつともない」とする風潮が強まった。
- c 霊との共感を失つていった近代人は他人の涙に共感できなくなり、やがて「泣くことはみつともない」という社会的、論理的規制を作りあげていった。
- d 近代人が霊との共感を失つたことのきっかけとして、戦後の炭鉱に幽霊が出なくなったことが挙げられ、それは人々の感受性の欠落を示している。
- e 女、子供というのは感情に動かされやすいという感情蔑視の背後には、霊との共感を失つていった近代人の道程が透けて見える。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 暗礁〔解答番号は16〕      ② 真偽〔解答番号は17〕
- ③ 無臭〔解答番号は18〕      ④ 畏怖〔解答番号は19〕
- ⑤ 抗菌〔解答番号は20〕      ⑥ 岐路〔解答番号は21〕
- ⑦ 不偏〔解答番号は22〕      ⑧ 奨学〔解答番号は23〕
- ⑨ 嫌煙〔解答番号は24〕      ⑩ 抹茶〔解答番号は25〕

- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
- b 反対の意味の漢字を重ねたもの。
- c 上の字が下の字を修飾しているもの。

- d 下の字が上の字の目的語・補語となっているもの。
- e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 横柄[解答番号は26]      ② 喪失[解答番号は27]
  - ③ 受諾[解答番号は28]      ④ 富裕[解答番号は29]
  - ⑤ 快諾[解答番号は30]
- a 拒否      b 固辞      c 獲得      d 謙虚      e 貧窮

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 座視[解答番号は31]      ② 難儀[解答番号は32]
  - ③ 激励[解答番号は33]      ④ 永眠[解答番号は34]
  - ⑤ 醜聞[解答番号は35]
- a 鼓舞      b 傍観      c 汚名      d 逝去      e 辛苦

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 艱難辛 [解答番号は36]      ② 起 [ ] 転結[解答番号は37]
- ③ 才色兼 [ ] [解答番号は38]      ④ 破顔 [ ] 笑[解答番号は39]
- ⑤ 油断 [ ] 敵[解答番号40]

- ① a 区      b 駆      c 句      d 苦      e 口
- ② a 生      b 承      c 小      d 少      e 省
- ③ a 備      b 美      c 眉      d 媚      e 微
- ④ a 一      b 十      c 百      d 千      e 万
- ⑤ a 太      b 大      c 対      d 体      e 隊



六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 間□を入れず「解答番号は41」
- ② 捕らぬ狸の□算用「解答番号は42」
- ③ 虎の□を借る狐「解答番号は43」
- ④ 人のうわさも□十五日「解答番号は44」
- ⑤ 亀の甲より年の□「解答番号は45」

- ① a 発 b 髪 c 初 d 鉢 e 捌
- ② a 仮 b 皮 c 狐 d 名 e 本
- ③ a 射 b 遺 c 意 d 位 e 威
- ④ a 四 b 五 c 六 d 七 e 八
- ⑤ a 甲 b 考 c 功 d 項 e 効

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

- ① 私の家に来れば、他の本もお見せしましょう。「解答番号は46」
- ② 公園に綺麗な花をたくさん植えました。「解答番号は47」
- ③ ごみをそこに捨てる<sup>と</sup>、怒られますよ。「解答番号は48」
- ④ 私もお手伝いをします。「解答番号は49」
- ⑤ 来年になったら、家を建てましょう。「解答番号は50」

- a 未然形
- b 連用形
- c 終止形
- d 連体形
- e 仮定形